

## コラボ・ラボ等を活用した公共施設マネジメント

現在：公共施設等総合管理計画で定めた総量削減にむけ、アクションプラン対象施設の内ファーストステップ一覧表に掲載された施設を主に削減対象とし取り組んでいるのに加え、各施設の多機能化・複合化についても取り組んでいます。

課題：売却できない・・・旧伊賀町診療所・旧伊曾島幼稚園  
多機能化・複合化できない・・・旧幼稚園舎等

今後：コラボ・ラボ等を活用し市有財産すべてを対象として掲載することで、売却や有効活用のアイデアを広く募集することができ、施設の課題解決や有効活用が推進していく。

現在・・・ファーストステップ対象施設を重点に削減

拡充・・・+普通財産（インフラ施設含む）を重点に削減

さらに・・・+行政財産（有効活用）＝市有財産

## 事例

## 【又木茶屋】

課題：維持管理コスト（450～500万円／年） 来場者減少

解決策：課題解決の手法をサウンディング型市場調査

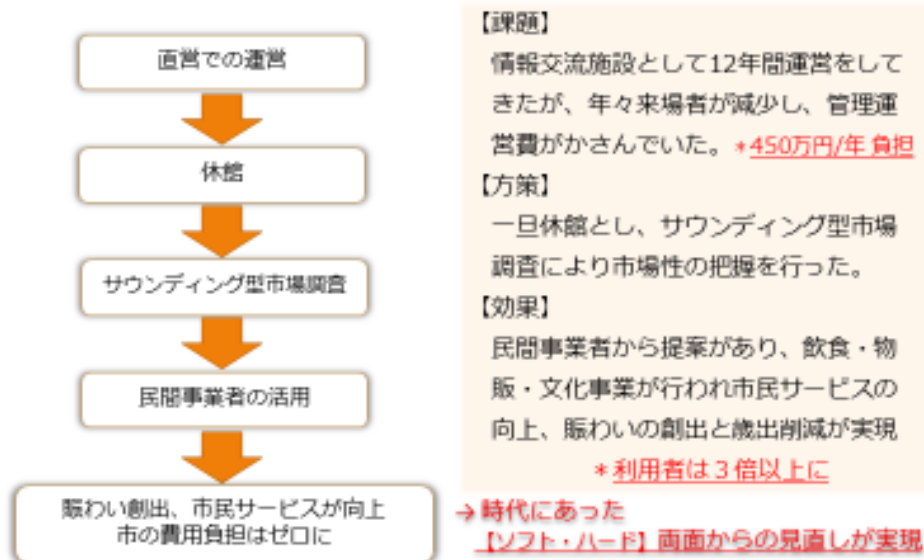
手法：サウンディング型市場調査内容を条件としたプロポーザルを実施

結果：障がい者、高齢者を雇用したレストラン経営。

●維持管理コスト：ゼロ ●来場者数の増加見込み

## 4. 新たなスタイルによる施設運営【又木茶屋の利活用】

○サウンディング型市場調査により、新たな施設運営が実現



各施設で抱える課題を解決する手法のひとつとして・・・

すべての市有財産を対象に

【コラボ・ラボ・オープンデータを活用】

- 施設の課題を解決する有効活用するアイデアを広く募集
- 市では思いつかない独創的な発想を募集